

大浜海岸に好感触

元五輪選手・朝日健太郎さん

酒田 親水空間整備へ視察

酒田市街地西部にある大浜海岸を親水空間として活用しようと、元ビーチバレー選手でNPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長の朝日健太郎さん(39)が26日、現地を訪れ、砂浜の状況を視察した。

朝日さんは熊本市出身。ビーチバレー男子で北京、ロンドン五輪に連続出場した。引退後、豊かな海辺環境づくりを目指す同協会の理事長を2013年10月から務める。大浜海岸で07年に開かれたビーチバレー大会に参加している。

朝日さんは国土交通省酒田港湾事務所の上原修二所長らと同港を視察。延長約1キロの大浜海岸で広さや砂

の状態を確認した。引き続き、酒田北港緑地展望台に移動し、防波堤や国際定期コンテナ便の着岸の様子を見学した。

朝日さんは「砂の粒の大きさが均一でとてもいい。人がたくさん来るようになれば整備が進むはず」と話す。以前から朝日さんと親交のある上原所長は「互いに意見交換ができ、理解が深まってよかった」と話していた。



大浜海岸の広さや砂の状態を確認する朝日健太郎さん(中央)
酒田市・大浜海岸